

令和2年度授業改善推進プラン

- (取り組み内容)
- ・毎学期の終わり、自分の担当(各学年ごとに項目だてて)の授業に関して作成する。
 - ・本年度の自己の研修課題に関連し、自己の授業を分析し課題を見いだす。
 - ・見いだされた課題に対し改善プランを立て、指導方法の工夫・改善を図る。
 - ・学期の終わりに検証を行い、来学期につなげていく。

教科名(**音楽**) 教科担任名 木下 真一

★教科・観点について
 期末テスト及び学期の学習状況、生徒の授業アンケートをもとに分析し記入する。<○成果 ▲課題>

観点	1学期			2学期			
	学年	課題分析	具体的な改善策	学年	課題分析(授業改善・プランの1次評価)	1次評価後の具体的な改善策	改善プランの評価・来年度にむけて
音楽への関心 意欲・態度	1年	○鑑賞活動に前向きに取り組むことができた。	1学期は鑑賞活動を中心に行ったが、様々な音楽活動を通して、それぞれの特徴を味わい音楽を楽しむという姿勢や心を育てていく。各学年の実態に合わせて課題や目標を設定し、表現することへの苦手感を克服し、自信をもって表現できるようにしていく。	1年	○歌唱活動に前向きに取り組むことができた。	2学期は表現活動を中心に行った。合唱やお筆などの音楽活動を通し、思いや意図をもって音楽表現をしていく姿勢や心を育てていく。各学年の実態に合わせて課題や目標を設定し、表現することへの楽しみを作り出し、自信をもって表現できるようにしていく。	
	2年	○鑑賞や音楽表現の創意工夫を考える活動に意欲的に取り組むことができた。		2年	○歌唱や音楽表現の創意工夫を考える活動に意欲的に取り組むことができた。		
	3年	○鑑賞活動に意欲的に取り組むことができた。		3年	○歌唱活動や音楽表現の創意工夫を考える活動に意欲的に取り組むことができた。		
音楽表現の創意工夫	1年	▲新型コロナ感染拡大の防止の観点からあまり行えなかったが、新しい形での歌唱の活動に取り組むことができた。表現したいことや意図したことを、文章で表す活動が難しい。	強弱や速さなど、表現の工夫をまずは楽譜から読み取る力を伸ばしていく。また音楽用語の意味や読み方も反復練習で定着を図る。自信がなく、積極的に表現することができない傾向があるため、自ら考えて表現の工夫ができるよう、授業展開を工夫するとともに、発表などで個々が表現する場面を設定していく。	1年	○新型コロナの影響で制限がある中、歌唱活動において音楽から作曲者の意図を読み取り、表現を創意工夫することができた。	強弱や速さなど、表現の工夫を楽譜から読み取る力が伸びたことで、表現を工夫したり、その意図を考えたたりする活動ができた。今後も、音楽用語の意味や読み方も反復練習で定着をり、自ら考えて表現の工夫ができるよう、授業展開を工夫するとともに、発表などで個々が表現する場面を設定していく。	
	2年	▲新型コロナ感染拡大の防止の観点からあまり行えなかったが、新しい形での歌唱の活動に取り組むことができた。表現したいことや意図したことを、文章で表す活動が難しい。		2年	○新型コロナの影響で制限がある中、歌唱活動において音楽から作曲者の意図を読み取り、表現を創意工夫することができた。		
	3年	▲新型コロナ感染拡大の防止の観点からあまり行えなかったが、新しい形での歌唱の活動に取り組むことができた。表現したいことや意図したことを、文章で表す活動が難しい。		3年	○新型コロナの影響で制限がある中、歌唱活動において音楽から作曲者の意図を読み取り、表現を創意工夫することができた。		
音楽表現の技能	1年	▲頭声発声を意識できているが、腹式呼吸など息の使い方が十分ではなく音量が弱い。	基礎的な歌う姿勢と発声の仕方を、歌唱活動を毎時間設け定着させる。課題を明確にし、個々に合わせたアドバイスや教え合い学習を行い技術の向上を図る。	1年	▲個々の音量はまだ弱いが、合唱の中では改善されてきている。		
	2年	▲響きのある声や曲想に合わせて表現する技能が定着していない。		2年	○響きのある声を意識した発声の方法などが少しずつ身につけている。		
	3年	○合唱では担当するパートの音程を正確に歌うことができる生徒が多い。 ▲自ら考え、響きのある声や曲想に合った表現をすることがあまりできていない。		3年	○自分たちで考えながら、響きのある声や曲想表現ができるようになった。		
鑑賞の能力	1年	○意欲的に題材の鑑賞ができていた。 ▲知覚したことで感じたことを結び付けて考えることがあまりできていなかった。	様々な音楽に触れさせ、音楽の良さや美しさを意欲的に味わい、幅広く音楽に親しむ姿勢を育てる。鑑賞のポイントを明確にし、音楽の諸要素と感じたいことを結び付けたり、感じたことを自分の言葉で表現したりする力を高める。	1年	○意欲的に題材の鑑賞ができていた。 ▲知覚したことで感じたことを結び付けて考えることがあまりできていなかった。	様々な音楽に触れさせ、音楽の良さや美しさを意欲的に味わい、幅広く音楽に親しむ姿勢を育てる。鑑賞のポイントを精選して明確にすること、音楽の諸要素を意識して聴けるよう指導を工夫する。	
	2年	○意欲的に題材の鑑賞ができていた。 ▲音楽の諸要素の働きや楽曲との結びつきを感じることがあまりできなかった。		2年	○意欲的に題材の鑑賞ができていた。 ▲音楽の諸要素の働きや楽曲との結びつきを感じることがあまりできなかった。		
	3年	○意欲的に題材の鑑賞ができていた。 ▲音楽の良さや諸要素の働きを感じ取り、自分の言葉で表現することができなかった。		3年	○意欲的に題材の鑑賞ができていた。 ▲音楽の良さや諸要素の働きを感じ取り、自分の言葉で表現することができなかった。		
授業改善の検証方法	授業観察、ワークシート、投影資料、実技テスト、定期考査、生徒アンケート						
研修課題(キャリア教育に関連した教科としての取組)	研修課題に対する教科としての具体的な実践方法	1学期の成果と課題	1学期の結果を踏まえた具体的な実践方法及び追加内容	2学期までの成果と課題	1年間の成果と今後の課題		
表現や鑑賞活動を通して、『主体的に学び、物事にねばり強く取り組む生徒の育成』を行っている。	各学年の実態にあった目標の設定と、関心を高める教材活動にグループ練習を取り入れ、教え合い学習など生徒主体の活動の場を多く取り入れる。完成までの過程を充実させ、最後まで諦めず取り組む姿勢を身につけさせる。	前向きに活動に取り組む、成果を実感できた生徒は主体性も高まった。苦手意識が強い生徒は、練習を途中であきらめしてしまうことがあった。自ら目標や課題を見つけ解決していく力を育てることが課題である。	生徒が主体となって練習を進めていく合唱活動を行い、その中で考えを出し合い協働して音楽表現を工夫する活動を取り入れた。	どの学年も生徒が意欲的に合唱活動に取り組むことができた。歌唱表現についても発表することを通して自信が得られていると感じた。生徒が協働しながら音楽活動を行う場面の設定を工夫したい。また、生徒の理解を進めるための視覚資料(番所、投影資料など)の改善をしていきたい。			